

施策評価表

令和5年度分

①	施策コード	4・1・1								
②	施策名	地域が輝くまちづくりの推進		評価担当課		企画財政課		総合戦略	行政経営	過疎
								○	-	○
③	目 標	魅力ある地域づくり(地域自治組織活動)に満足している町民の割合				施策 の 内 容	地域の特色を活かした地区別計画を推進するため、住民自治組織の運営や事業企画の支援を行います。また、まちづくりの中心的役割を担う人材を育成し、行政と町民の協働のもとに地域に密着した自主的な活動を促進することにより、地域が輝くまちづくりを進めます。			
④ ⑤	現状と課題	◆ 平成22年度に町内8地区の公民館を「まちづくりセンター」に改編し、指定管理による地域の特徴を活かした協働のまちづくりを進めてきました。これからも地域の拠点であるまちづくりセンターを中心に、町民がまちづくりの担い手として活躍できる特色ある地域づくりが求められています。 ◆ 地域づくりを進めていくためには、様々な地域活動によるコミュニティの構築、これからの地域を担う人材の育成、各種市民活動団体や組織の相互ネットワークなど、様々な取組みや仕組みづくりが必要になっています。								

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	上段:達成率(R5実績/R5目標) 下段:達成率(R5実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R5実績/R6目標)
まちづくり活動団体数(NPO団体数を含む)	団体	7	11	11	8	8	8	1.00	15	0.53
			8	8	8	8		1.00		
地区別計画事業に対する参加者数	人	17,286	16,000	13,000	15,000	20,000	20,000	1.11	25,000	0.89
			12,532	14,747	19,723	22,288		1.11		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	上段:達成率(R5実績/R5目標) 下段:達成率(R5実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R5実績/R6目標)
まちづくり活動団体数(NPO団体数を含む)	団体	7	11	11	8	8	8	1.00	15	0.53
			8	8	8	8		1.00		
地区別計画事業に対する参加者数	人	17,286	16,000	13,000	15,000	20,000	20,000	1.11	28,500	0.78
			12,532	14,747	19,723	22,288		1.11		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(計画)
⑧		131,523	133,066	149,590	144,536	156,450

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	17	事業		
●成果	A	8事業	(47.1%)	平均点 1.3
	B	6事業	(35.3%)	
	C	3事業	(17.6%)	
未実施		事業	(0.0%)	平均点 1.6
●コスト	A	10事業	(58.8%)	
	B	7事業	(41.2%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	平均点 1.2
●進捗率	A	7事業	(41.2%)	
	B	7事業	(41.2%)	
	C	3事業	(17.6%)	
未実施		事業	(0.0%)	平均点 1.4
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	拡充	【説明欄】 地域の特色を活かした地区別計画を推進するため、協働によるまちづくり交付金や、地域おこし協力隊等制度などを積極的に活用し、住民自治組織の運営や事業企画の支援を行います。また、行政と町民の協働を進め、集落支援員制度を導入するなど地域に密着した自主的な活動を促進し、地域が輝くまちづくりを進めます。
	委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 集落支援員制度等、地域に根差した事業については、見直しを進めながら進める。

施策評価表

令和5年度分

①	施策コード	4・1・2							
②	施策名	地域コミュニティの基盤づくり	評価担当課	企画財政課		総合戦略	行政経営	過疎	
						○	—	○	
③	目 標	魅力ある地域づくり(地域自治組織活動)に満足している町民の割合			施策の内容	8地区の「まちづくりセンター」を地域住民の交流の場として充実させるとともに、地区別計画の事業を展開し、地域の拠点とするため指定管理制度によって、地域住民による主体的な有効活用を推進します。			
④	現状と課題	◆ 平成22年度に町内8地区の公民館を「まちづくりセンター」に改編し、指定管理による地域の特徴を活かした協働のまちづくりを進めてきました。これからも地域の拠点であるまちづくりセンターを中心に、町民がまちづくりの担い手として活躍できる特色ある地域づくりが求められています。 ◆ 地域づくりを進めていくためには、様々な地域活動によるコミュニティの構築、これからの地域を担う人材の育成、各種市民活動団体や組織の相互ネットワークなど、様々な取り組みや仕組みづくりが必要になっています。 ◆ コロナ禍により施設の利用に制限がある中、町民が引きこもりにならないよう、感染防止対策を行いながら可能な限り地域活動を行っていく必要があります。							
⑤									

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	上段:達成率(R5実績/R5目標) 下段:達成率(R5実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R5実績/R6目標)
まちづくりセンター利用者数	人	6,660	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	0.97	7,500	0.65
			3,821	3,321	4,610	4,850		0.97		
まちづくりセンターへの苦情件数	件	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
			0	0	0	0		#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	上段:達成率(R5実績/R5目標) 下段:達成率(R5実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R5実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(計画)
⑧		49,212	60,836	79,286	53,180	69,206

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	5	事業	
●成果	A	2事業	(40.0%)
	B	1事業	(20.0%)
	C	2事業	(40.0%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			1.0
●コスト	A	4事業	(80.0%)
	B	1事業	(20.0%)
	C	事業	(0.0%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			1.8
●進捗率	A	1事業	(20.0%)
	B	2事業	(40.0%)
	C	2事業	(40.0%)
未実施	事業	(0.0%)	平均点
			0.8
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
			1.2

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 8地区の「まちづくりセンター」を地域の拠点とするため指定管理制度によって、地域住民の交流の場として充実させるとともに、地区別計画の事業を展開し、地域住民による主体的な有効活用を推進します。 災害公営住宅等入居後のコミュニティの再生・再構築への継続的な支援及びコミュニティの自走に向けた伴走支援を行ってまいります。
	委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

令和5年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

事務事業数	38	事業	
●成果 A	29事業	(76.3%)	平均点
B	5事業	(13.2%)	
C	4事業	(10.5%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
●コスト A	26事業	(68.4%)	平均点
B	9事業	(23.7%)	
C	2事業	(5.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.6
●進捗率 A	29事業	(76.3%)	平均点
B	6事業	(15.8%)	
C	3事業	(7.9%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
			平均点

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

1.7

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	【説明欄】 町民が利用しやすい行政サービスをめざし、多様化、高度化する町民ニーズに柔軟に対応できるよう職員の意識改革と能力向上に努めます。 また、町が保有する公共施設等については、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減や平準化により公共施設の総合的かつ計画的な管理を推進します。
	委員会評価	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

施策評価表

令和5年度分

①	施策コード	4・2・2						
②	施策名	開かれた行政サービスの提供	評価担当課		総務課	総合戦略	行政経営	過疎
						—	○	—
③	目 標	町役場の行財政改革や経費節減策に満足している町民の割合			施策の内容	町が保有する情報の公開、町の施策や事務事業に係る行政評価の公表、町政懇談会やまちづくり座談会の実施により、行政情報の公開と共有を図り、町民の声を行政運営に反映した開かれた行政を目指します。		
		町役場の情報公開に満足している町民の割合						
④ ⑤	現状と課題	◆ 本町では、人口減少に伴い税収の伸びが見込めず、地方交付税の減額などによって厳しい財政状況が続き、今後も財政の好転が期待できない状況にあります。これから行財政改革を推進し、健全な行財政運営を図ることが求められています。 ◆ 行政に対する町民ニーズが多様化しており、町民が必要とするサービスを利用しやすい方法で提供することが求められています。また、行財政運営の透明性を高め、町民の信頼と理解を得るためには、より一層の行政情報の公開が求められています。 ◆ 町民の生活圏の拡大やニーズの高度化が進んでいることから、仙南圏域の市町との協力と役割分担が不可欠であり、より一層の広域行政の推進が望まれます。						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	上段:達成率(R5実績/R5目標) 下段:達成率(R5実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R5実績/R6目標)
町政懇談会やまちづくり座談会の参加者	人	180	280	280	280	280	280	0.58	220	0.74
			125	209	168	163		0.58		
行財政改革実施計画における目標達成度	%	78.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.80	100.0	0.80
			73.0	80.0	80.0	80.0		0.80		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	上段:達成率(R5実績/R5目標) 下段:達成率(R5実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R5実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦	構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(計画)
⑧		82,575	79,314	94,285	84,128	93,963

取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩	今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業数	13	事業		
●成果	A	10事業	(76.9%)	平均点 1.8
	B	2事業	(15.4%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	12事業	(92.3%)	平均点 2.0
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	10事業	(76.9%)	平均点 1.8
	B	2事業	(15.4%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	平均点 1.9

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪	次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 町民の声を積極的に収集し、情報発信による開かれた行政と、地域課題の共有による協働のまちづくりの推進に取り組むため、より多くの町民が参加できる町政懇談会やまちづくり座談会の開催方法を検討する。
委員会評価		見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

令和5年度分

⑥ 目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

事務事業数	3	事業	
●成果 A	1事業	(33.3%)	平均点
B	1事業	(33.3%)	
C	1事業	(33.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.0
●コスト A	2事業	(66.7%)	平均点
B	1事業	(33.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.7
●進捗率 A	1事業	(33.3%)	平均点
B	1事業	(33.3%)	
C	1事業	(33.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.0
			平均点
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.2

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 仙南地区の2市7町が連携して、事務の共同処理の活用を図るための調査及び構成市町間の調整を行い、今後の人口減少や高齢化が進む中で限られた人員や財源を有効的に活用していきます。 阿武隈急行線においては、令和元年東日本台風災害をはじめ度重なる災害による復旧経費や利用者減少のため、運賃収入の減少が経営に大きな影響を及ぼしている。会社及び沿線自治体が協力し利用者増加につながるように事業展開を検討していきます。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。